

件、5 ㎡以上は一律1件当たり5 万円で7 件である。

商店街活性化事業

Q 商店街活性化事業の内容は。

A 産業振興課長 商店街の老朽

化した街路灯をLED照明に換えることによる買い物客の安全確保とCO₂の削減効果に対して補助するものである。

地域経済応援事業

Q 今後発行される「元気クーポン券」は、鶴ヶ島市商工会に加入していない事業者での利用はできるのか。

A 産業振興課長 事業を委託する鶴ヶ島市商工会において、

今後、大型店やチェーン店での利用について協議をしてもらう。

道路交通環境安全対策事業

Q 道路交通環境安全対策事業の内容は。

A 道路建設課長 脚折けやき通

りの脚折町三丁目交差点から坂戸市との境まで約980 ㎡にわたり、車道の両端にそれぞれ1・5 ㎞の自転車通行帯を整備する。

共栄一本松線整備事業

Q 24 年度の予算の使途は。

A 道路建設課長 埋蔵文化財の調査業務に250 万円、延長

590 ㎡、幅員20 ㎞で両側に歩道整備しての舗装完了までの共栄一本松線の工事費用が1 億7100 万円、電柱の移設補償金が600 万円である。



共栄一本松線の予定地

小学校空調設備設置事業

Q 24 年度は設計業務ということだが、今後の設置のスケジュールはどうなっているか。

A 学校教育課主席主幹 11 月中

旬をめどに設計を終わらせた後、補正予算で工事費を計上したい。来年の3 月から8 月にかけて工事を行いたい。



特別会計予算

() は、前年度予算額

国民健康保険

69 億7336 万円
(63 億5856 万円)

後期高齢者医療

4 億2784 万円
(3 億7785 万円)

介護保険

27 億9184 万円
(29 億3622 万円)

一本松土地区画整理事業

3 億753 万円
(2 億5769 万円)

若葉駅西口土地区画整理事業

4 億9163 万円
(4 億4787 万円)

国民健康保険

Q 特定健診の受診率の低下率と受診率向上に向けた24 年度の対策は。

A 保険年金課長 受診状況は、

5 割強の低下である。はがきによる特定健診の受診勧奨を再開する。また、効果のあるPR 方法も研究していく。

Q 1 人当たりの医療費の状況は。

A 保険年金課長 医療費総額10 割分の金額で、22 年度決算額では1 人当たり年額25 万5000 円である。西部11 市の中では、最も低い額である。

後期高齢者医療

Q 24 年度の保険料の額は。

A 保険年金課主席主幹 保険料賦課総見込額としては、3 億6962 万5141 円を埼玉県後期高齢者医療広域連合から提示されている。

介護保険

Q 前年度と比べると、歳入歳出とも相当に大幅な減額となっているが、その理由は。

A 高齢者福祉課長 第4 期計画は、80 人定員の特別養護老人ホームの開設により負担が増えること、介護報酬の3 割増額があることを踏まえて策定しており、23

年度予算も当該計画を基に編成したが、実績が予想以上に低い状況であるため、それに合わせて24 年度予算を見積もった。

一本松土地区画整理事業

Q 区画整理事業の進捗率は。

A 区画整理課長 23 年度末で216 戸の建物移転を完了し、進捗率は85・7 割。仮換地指定は23 年度に2281 平方 ㎡を実施し、指定率は76・9 割。予算的には全体事業費に対して、75・5 割の進捗率である。

若葉駅西口土地区画整理事業

Q 保留地処分金が前年度に比べて94・4 割伸びているが、今後の見込みはどうか。

A 区画整理課長 一般保留地と呼ぶある程度一つの土地として利用可能な土地と、付保留地と呼ぶ建物移転、補償を防ぐための土地や換地により余った土地があり、今のところ付保留地を売却している。仮換地指定が進み、一般保留地が売却できるようになれば、保留地処分金は増える時期もある。

